

(別紙1)

## 総括研究報告書

課題番号	2021B-20						
研究開発課題名	出生前遺伝学的検査を検討する妊婦へのテレジェネティクスによる遺伝カウンセリングに関する研究						
分類*	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤	<input type="checkbox"/> ⑥	<input type="checkbox"/> ⑦
区分	<input type="checkbox"/> A	<input checked="" type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> S		
主任研究者	所属	周産期・母性診療センター 胎児診療科					
	役職	医師					
	氏名	室本 仁					
実施期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日						

### 成果の概要

本研究では、検査を希望する妊婦に対して検査前後にテレジェネティクスによる遺伝カウンセリング（GC）を行うのみならず、院外の妊婦については検査の施行（採血など）は通院先で行う体制づくりのための検討を加えることで、院内・院外妊婦を問わず遠隔GCができる体制を確立し、全国の妊婦に適切なGCを提供する体制を構築することを目的とする。

本年度では当センターで妊婦健診を行っている（院内）妊婦に、検査後のテレジェネティクスによる遠隔GCを結果開示の選択肢の一つとして追加し、対象者を拡大した上での課題と修正点を洗い出すことを行った。遠隔GCでは産科でオンライン健診用に作成しているアプリをプラットフォームとして使用した。

① オンライン健診用アプリを結果開示の一つの選択肢として提示し、ニーズや課題の洗い出しのためにさらなる試験を行なった。

【対象】当院で妊婦健診を行っており、検査前のGC後に出生前遺伝学的検査を希望した妊婦 638名

【結果】オンラインでの結果開示を希望した妊婦は 216名

② オンラインでのGCを希望しなかった妊婦の中にはGC遺伝カウンセリングに不安を覚え、対面での遺伝カウンセリングを希望した妊婦、結果開示時期に妊婦健診の予定がある妊婦がいた。遠隔GCを行った妊婦に関しては、昨年度の問題点に挙がっていた操作方法について案内した紙を配布することで当日の不具合や操作に関する質問や問い合わせを減らすことが可能であり、今後導入にあたり時間設定などについて検討することが可能となった。

テレジェネティクスによる遠隔GCを試験的に行う予定としていたが、今回使用したアプリを妊婦の多くが自身のiPhoneなどの小型の端末に入れていることもあり、細かい資料などを映し出すことが難しいことが判明した。そのため、長時間の遠隔GCには今回使用したアプリ以外の別の媒体を検討する必要があることが課題として挙がった。今後、別の媒体について再度検討を行い次年度以降に検査前の長時間の遠隔GCを試験的に行うことを目標としている。